



【放射線科合同読影会の様子】

## 「放射線科合同読影会」って、どんな講座??

放射線科読影会（年2回開催）は日常の診療に役立つ画像診断を紹介しています。

わかりやすい演題から少し掘り下げた演題まで、毎回2～3の演題をご用意しており、部位も脳神経・胸部・腹部と幅広く、内容も総論的な内容、解剖に即した読影の方法、ピットフォール、実際の症例検討などを行っています。

この様なテーマ設定の為、地域の先生方にはもちろん、当院のスタッフにも大変好評です。

持ち寄りフィルムも歓迎しておりますので、先生方並びにスタッフの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

（放射線科 部長代理 内山史生）

## Topics

- \* 放射線・IVR科「IVR」
- \* 海老名地区ソーシャルワーカー連絡会 開催報告



海老名総合病院  
放射線科・IVR科では、  
IVR 専門医を含み、  
常勤医 5 名が  
勤務しています。

## 診療科紹介 放射線科・IVR科

海老名総合病院 放射線科では、当院のみならず、関連施設で行なわれた画像検査の画像をオンラインで転送し、読影を行なっています。正確で、診療に有用な読影を速やかに行い、地域の先生方のご要望にお応えします。また、IVR の治療も行なっているほか、地域の医療機関の方々を対象にした勉強会（放射線科合同読影会）も開催しています。

## 「IVR」とは

IVR(Interventional Radiology)は「画像下治療」と訳されており、各種の画像診断機器を利用してカテーテルや針を血管や臓器に挿入・操作することにより、局所的治療を行う治療手技です。

一般的な手術と比べると侵襲性が小さいことがメリットです。

近年実施いたしました主な IVR 診療は以下の通りです。



- \* 肝腫瘍に対する肝動脈化学塞栓療法・動注化学療法
- \* 骨盤内悪性腫瘍に対する動注化学療法（バルーン閉塞下含む）
- \* 子宮筋腫や産後弛緩出血に対する子宮動脈塞栓術
- \* 様々な部位の動脈性出血や内臓動脈瘤に対する塞栓術
- \* 脾機能亢進症に対する部分的脾動脈塞栓術
- \* 胃静脈瘤塞栓術
- \* 経皮的シャント拡張術・血栓除去術
- \* 血管内異物除去術
- \* CT もしくは超音波ガイド下経皮的膿瘍ドレナージ術・生検 等

他の手技も施行可能な場合がありますので、放射線科・IVR科までご相談ください。

## 放射線科合同読影会 開催のお知らせ

日 時：9月13日 19:00～（受付 18:30～）

場 所：B館3階 講義室

内 容：「脊柱・脊髄の画像診断」 放射線科顧問 小野由子

「虫垂炎の画像診断」 放射線科部長代理 内山史生

問合せ：下記へお問合せ下さい

海老名総合病院 地域連携課

046-233-1311（代）

## 座間総合病院 回復期リハビリテーション病棟の紹介



回復期リハビリテーション病棟では、土日祝日を含め 365 日のリハビリテーションを実施しています。

また、病棟専用のリハビリテーション室を設置し、専従の PT、OT、ST が患者さんの回復段階に合わせた治療を提供します。リハビリテーション科と病棟スタッフが患者さんの状態や情報を常に共有し、一日も早い患者さんの機能回復と自宅復帰を目指しています。



患者さんと作成した  
七夕かざり。

壁一面が窓の  
明るいろりハビリ室



## 第2回 海老名地区ソーシャルワーカー連絡会 を開催いたしました

「連携を担う私たちだからこそできることを一緒に考えていく」という目的で、昨年から始まった連絡会の第2回目が、6月28日に海老名総合病院にて行われました。

事前アンケートの結果、「新年度の各施設情報が知りたい」との意見が多く、【気楽な情報交換会】と題しワールドカフェを行いました。



海老名市内の各病院、施設、また座間総合病院からの参加もあり、26名（医療機関14名、施設12名）の相談員が集まって、積極的な情報交換の場となりました。参加者の方からは、「実際に顔を合わせて話をする意義が感じられる為、会の継続を希望する」との声が多く上がりました。

今年度中に、第3回目の連絡会開催を予定しています。各施設、より良い連携を図れるよう、今後も継続をしていきたいと思っております。

### 紹介件数報告

平成28年度		4月	5月	6月
海老名総合病院	診療	641件	646件	707件
	救急	78件	89件	101件
	検査 (※)	137件	128件	115件
座間総合病院	診療	210件	240件	241件
	救急	6件	6件	8件
	検査 (※)	4件	1件	23件
海老名 メディカルプラザ	診療	423件	444件	502件

(※)検査共同利用での紹介件数です。

### 編集後記

今回、はじめてIVR取材しました。

口頭で、おおまかな説明は受けていたのですが、実際に目を見ると、まるで手術の様でした。

患者さんは、麻酔でグッスリ・・・という訳ではなく『ボンヤリと意識はある』とのこと、撮影時の「息を止めてくださ〜い」にも応えていたのが印象的でした。少しでも意識があるなら、挿入箇所は痛くないのかな？など、余計な心配をしつつ、取材をしました。

普段は、スーツ姿で読影室にいる放射線科医の手術着姿や、画像を見ながら施術する姿に「カッコイイな〜」と思いながらシャッターを切っていたのでした。

(M)